専門教育科目

講義科目

授業科目名	発達心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	石井 隆之	FD20	1	2
科目の概要				
<p>人間の心や行動の解明を、その発達のしくみと関連づけたものが、発達心理学である。</p> <p>本科目では、「発達心理学」の分野では比較的新しい生涯発達の視点を取り入れている。心の発達、認知の発達、ことばの獲得と発達、教育の過程、人格（パーソナリティ）の発達などの、発達心理学の基本をベースに、青年期の特質とそこでの対人関係と知的機能における発達の意味を考える「青年期の展開」、成長発達の過程において起こる危機と阻害の問題を考える「発達の危機と阻害」、人間の心身発達の問題を問い直す「生涯発達心理学の課題」について学習する。</p>				
科目の到達目標				
<p>① 発達に関わる心理学的理論の特徴を指摘でき、実証的研究の事例を示しながら、説明できる。</p> <p>② 発達過程での障害要因と影響、問題点について説明でき、そのために具体的な方策を提示できる。</p>				
テキスト	『発達心理学』岩田 純一 他, 有斐閣, 1992年			
テキストの読み方				
<p>① 主な発達理論を理解し、基本的な知識を押さえ、人格の発達の理解に関して発達段階と理論のそれぞれの特徴を理解し、説明できるようにする。</p> <p>② 現代社会における青年期の心身発達の特徴を、社会文化的にとらえ、事例の考察に役立て、また、学童期の発達における教育の役割や、授業や教師、そのほかの対人関係が及ぼす影響について理解する。</p> <p>③ 成長過程における発達の危機と阻害について、「生物学的発達」と「人格発達における危機と阻害」という2つの側面から「生涯発達の心理学」の心理学全般における学問的意義を理解する。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				